

医動物検査

医動物室における平成20年4～6月の検査件数を表に示しました。

【行政検査:福祉保健センター、市場食品衛生検査所など行政からの依頼】

食品中異物検査が5件(パンに混入したチビアメバチ亜科の一種、乳飲料に混入したノミバエの一種、スープに混入したヤマアリの雄有翅虫、スープに混入したコナガの幼虫、じゃこトーストに混入した等脚目の一種)、種類同定検査が6件(ヒメイエバエ、ニホンミツバチ、ナミハナアブ亜科の幼虫、チャタテムシの一種、カイガラムシの一齢幼虫、ササラダニの一種)でした。

ウエストナイル熱媒介蚊調査のために、市内公園や港湾地区などで週に1回ライトトラップを用いて採集された蚊を分類同定しました。6月中に2回(1回10定点)調査を行いました。期間中に採集された蚊は、5属7種、186個体(雄を含む)でした。本調査は10月下旬まで継続実施します。

【依頼検査:市民、事業者からの有料依頼】

種類同定検査が3件(マルトビムシ科の一種、等脚目の一種、クモ目の一種)でした。

ゴキブリに対する殺虫剤効力試験を実験室内で行いました。なお、現場における試験を継続中です。

【その他:感染症媒介昆虫等の市内における生息状況を把握するために行う調査や市民からの問い合わせ等】

中区、磯子区、南区(2定点)でライトトラップを用い、週に1回飛翔昆虫調査を行いました。4～6月中に54定点の調査を行いました。

また、中区の5飲食店、57定点で粘着式トラップによるチャバネゴキブリの生息状況調査を実施しました。4～6月中にのべ670ヶ所の調査を行いました。

感染症媒介昆虫調査の一環として、中区(1回:11ヶ所)、磯子区(3回:62ヶ所)及び保土ヶ谷区(2回:200ヶ所)において雨水枡における蚊幼虫調査を行いました。

検査試験項目	平成20年			平成20年	
	4月	5月	6月	4～6月	
行政検査	種類同定検査	0	2	4	6 件
	食品中異物検査	1	1	3	5 件
	ウエストナイル熱蚊検査				
	採集地点数			20	20 定点
	個 体 数			186	186 個体
依頼検査	種類同定検査		2	1	3 件
	食品中異物検査				0 件
	発生状況調査(ダニ類)				
	調査回数				0 件
	個 体 数				0 個体
	殺虫剤効力試験		4		4 件
その他	ゴキブリ調査	271	200	199	670 カ所
	飛翔昆虫調査	19	15	20	54 定点
	その他の調査等	50	23	200	273 件
	問い合わせへの回答	14	19	21	54 回

検査試験項目等 解説

種類同定検査

福祉保健センター、市民、事業者などから依頼のあった昆虫・ダニ類の種を調べます。種が明らかになることにより、生態等が判明し、その発生時期、発生場所、害の有無などに基づいて駆除の必要性、駆除方法、予防法などが明らかになります。

食品中異物検査

福祉保健センター、市民、事業者などから依頼のあった食品に混入した昆虫の種を調べます。種が明らかになることにより、生態等が判明し、混入経路を推定する一助となります。

ウエストナイル熱媒介蚊調査

健康福祉局の「ウエストナイル熱対策事業(18区)」におけるウエストナイルウイルスの調査を行っています。種ごとのウイルス保有状況を調べるため、市内公園や港湾地区などで採集された蚊を分類同定します。

ダニ類等発生状況調査

福祉保健センター、市民、事業者などからのかゆみや虫刺されの相談に基づいて、必要に応じて、住宅内でのダニ検査を行います。ダニ発生の有無を調べ、発生している場合には人を刺すダニであるかなどの検査を行います。

殺虫剤効力試験

新しく開発された防疫用殺虫剤の効力試験を、室内(基礎)および野外(実地)で行います。

ゴキブリ調査

実際に営業している飲食店におけるゴキブリの生態を把握するため、また殺虫剤の実地効力試験の予備調査として、ゴキブリ生息状況調査を行っています。

飛翔昆虫調査

ライトトラップを用い、時期ごとに大量発生している昆虫類等の発生状況や感染症媒介昆虫である蚊類成虫を中心とした飛翔昆虫の発生状況を調査しています。

その他の調査等

20年度は、雨水枡内での蚊の生息状況観察と幼虫に対する薬剤効果試験を行っています。

問い合わせ

市民の方などから相談のあった、昆虫・ダニ一般、昆虫媒介性疾病、殺虫剤などに関する不安、疑問に回答、助言、指導をします。



いよいよ夏本番。「そろそろ出番？」

写真:クログキブリ

【 医動物担当 】